

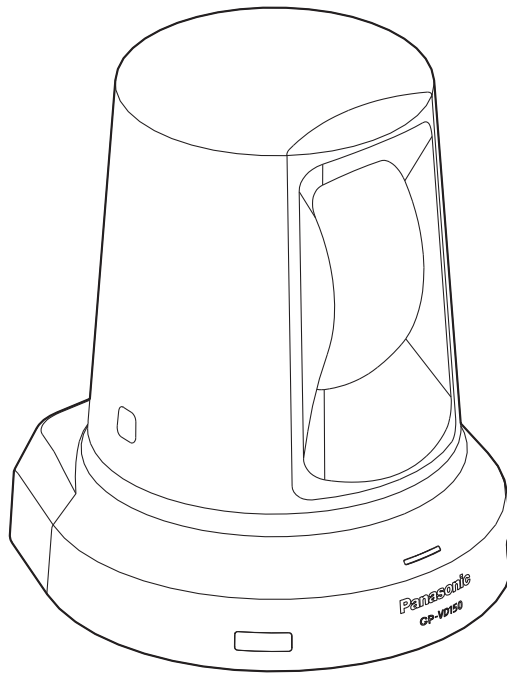
Panasonic®

取扱説明書 基本編

工事説明付き

HD コミュニケーションカメラ

品番 GP-VD150



HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 本機の操作や設定のしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」(PDFファイル)をお読みください。
「取扱説明書 操作・設定編」は、以下のホームページからダウンロードしてください。
<http://panasonic.biz/com/visual/support/download.html>
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	3	各部の名前とはたらき	15
はじめに	7	カメラ部	15
概要	7	ワイヤレスリモコン (別売品)	17
HD映像コミュニケーションシステムについて	7	リモコンIDの設定	19
ワイヤレスリモコン (別売品) について	7	設置のしかた	20
商標および登録商標について	7	卓上に設置する場合	20
著作権について	7	三脚に取り付ける場合	21
免責について	7	接 続	22
特 長	8	HD映像コミュニケーションシステムとの接続	22
付属品	9	故障と思ったら	23
個人情報の保護について	9	外形寸法図	26
設置上のご注意	10	定 格	27
使用上のお願い	12	保証とアフターサービス	29
ワイヤレスリモコン (別売品) について	14		

取扱説明書の構成について



- 本機の取扱説明書は、基本編（本書）と操作・設定編に分かれています。
本機を設置する前に、必ず基本編をお読みいただき、正しく設置してください。
- 本書では、設置のしかたについて説明しています。
本機の操作や設定のしかたは、「取扱説明書 操作・設定編」（PDFファイル）をお読みください。
「取扱説明書 操作・設定編」は、以下のホームページからダウンロードしてください。
<http://panasonic.biz/com/visual/support/download.html>
PDFファイルをお読みになる場合には、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。

安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。

 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

工事は販売店に依頼する  工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。 ●設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。	分解しない、改造しない  火災や感電の原因になります。 分解禁止 ●修理や点検は、販売店にご連絡ください。	異常があるときは、すぐ使用をやめる  煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物破壊の原因になります。 ●放置せずに、直ちに電源を切り、販売店にご連絡ください。
---	--	---

安全上のご注意

必ずお守りください












警告

<p>可燃性雰囲気中で使用しない</p> <p> 爆発し、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>異物を入れない</p> <p> 水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p> <p>●直ちに電源を切り、販売店にご連絡ください。</p>	<p>塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない</p> <p> 取付部が劣化して、落下などの事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>回転動作中は本体部に手を触れない</p> <p> 回転部に指をとられ、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>振動のないところに設置する</p> <p> 取り付けねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因になります。</p>	<p>総質量に耐える場所に取り付ける</p> <p> 取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因になります。</p> <p>●十分な強度に補強してから取り付けてください。</p>
<p>ねじや固定機構はしっかりと締め付ける</p> <p> 締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。</p>	<p>落とさない、強い衝撃を与えない</p> <p> けがや火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>定期的に点検する</p> <p> 金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。</p> <p>●点検は販売店にご依頼ください。</p>
<p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</p> <p> プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。</p> <p>●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない</p> <p> たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。</p>

安全上のご注意

必ずお守りください





警告

<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</p> <p> 感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む</p> <p> 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。</p> <p>●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>	<p>配線は、電源を切ってから行う</p> <p> 感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因になります。</p>
<p>付属品・オプションは指定の製品を使用する</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>指定以外の電源や電圧で使用しない</p> <p> 指定以外の電源や電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>移動させる場合は外部の接続線を外す</p> <p> 電源コードが傷つくと、火災、感電の原因になります。</p> <p>●移動させるときは、外部接続ケーブルを外したことを確認してください。</p>
<p>アースを確実に接続する</p> <p> 付属の電源コードはアース端子付き3芯プラグです。アースに接続された3極コンセントに接続してください。アースの接続がされていないと、故障や漏電による感電の原因になります。</p> <p>●販売店にご相談ください。</p>	<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない</p> <p>(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <p>●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。</p>	
<p>機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない</p> <p> 水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。</p> <p>水ぬれ禁止</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。</p>	<p>水場で使用しない</p> <p> 火災・感電の原因になります。</p> <p>水場使用禁止</p>	<p>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告

<p>不安定な場所に設置しない</p> <p> 落下や転倒によるけがや事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>ケーブルなどは引っ張らない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>ケーブルなどを傷つけない</p> <p> 重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>お手入れのときは電源を切る</p> <p> 感電の原因になります。</p>		

⚠ 注意

<p>ラック、本棚など密閉した中に入れない</p> <p> 内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>		
--	--	--

はじめに

■概要

- 本製品は、1/3型フルHD MOSセンサーとデジタルシグナルプロセッサ（DSP）を採用した、回転台一体型フルHDカメラです。
- 光学12倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備えており、高品質で臨場感あふれる撮影が可能です。
- 本製品は、弊社製HD映像コミュニケーションシステム専用モデルです。
対象機種： KX-VC300、KX-VC600

■HD映像コミュニケーションシステムについて

- HD映像コミュニケーションユニットによるパン、チルト、ズーム、プリセット等のカメラ操作の説明は、対応しているHD映像コミュニケーションユニットの取扱説明書をお読みください。

■ワイヤレスリモコン（別売品）について

- 本機は、別売のワイヤレスリモコン（品番：AW-RM50G）から遠隔操作することができます。
HD映像コミュニケーションユニットのワイヤレスリモコンでは本機を直接操作できません。
ワイヤレスリモコンのご購入につきましては、販売店にご相談ください。

■商標および登録商標について

- HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

■著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

特 長

1/3型MOSセンサー・高性能12倍ズームレンズを採用

- 1/3型フルHD MOSセンサーとDSP (Digital Signal Processor) を搭載。多彩な映像処理で、高画質な映像が得られます。
- 光学12倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備え、高画質で臨場感あふれる映像が得られます。
- 白とびや黒つぶれを補正するダイナミックレンジストレッチ (DRS)、暗い場所でも残像を抑えてクリアに撮影する新ハイブリッドデジタルノイズリダクション (Hybrid DNR) を搭載し、幅広い用途で鮮明な映像を再現します。

高性能回転台との一体型で快適操作

- 90°/sの高速動作。
- パン範囲:±100°、チルト範囲:±30°の広い旋回角度。
- 騒音レベルNC35 (通常速度)、NC40 (プリセット時)の静かな動作。

簡単操作なワイヤレスリモコン (別売品) が使用可能

- 本機を最大4台まで操作できるワイヤレスリモコンを使用できます。
各種機能の設定や切り替えも、メニュー画面を見ながら簡単に行うことができます。

付属品

付属品をご確認ください。

取扱説明書 基本編(本書)	1	電源コード(2 m)	1
保証書	1	ACアダプター	1

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*

法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

*経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。

長時間直射日光の当たるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。

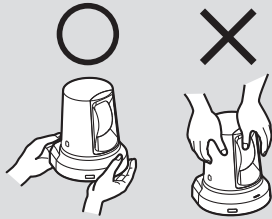
変形、変色または故障・誤動作の原因になります。また水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

本機は水平なところに置いてご使用ください

壁面設置、天井設置や傾けた状態での使用はおやめください。

ご注意

- カメラヘッド部分を持って作業しないでください。故障の原因になります。



長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
- 設置場所への冷房や暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください

設置または移設・撤去を行うときは、必ず台座部分を持って行ってください

カメラヘッド部を持ったり回したりすると、故障の原因になります。

本機にフィルター、フード、エクステンダーなどを取り付けないでください

設置場所について

揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。

お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、設置してください。

以下のような場所での設置および使用はしないでください

- 壁面（横向きでの設置。取付金具を使用した壁面固定。）
- 天井（下向きでの設置）
- 雨や水が直接かかる場所（軒下なども含む）
- 厨房など蒸気や油分が多い場所
- 屋外や+40℃以上の暑い場所
- 0℃以下の寒い場所
- 湿度が85%以上の場所
- プールなど、薬剤を使用する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気が発生する場所
- 車両や船舶などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません。）
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

設置上のご注意

付属の専用ACアダプターおよび電源コードを使用してください

ACアダプターと電源コードはインレットに確実に接続してください。

電源コードは、必ず本機に付属のものを使用してください。本機付属以外の電源コードでは使用できません。また、本機以外の機器に付属の電源コードを使用することはできません。

ACアダプターの設置について

- 床等に直置きしないでください。
雨漏り等で水たまりができた際に大変危険です。水やほこり等がたまらない面などにしっかりと固定してください。
- 落下の危険がないようにしっかりと固定してください。
ACアダプターの質量(約320g)に十分耐えられる強度で固定してください。

付属のACアダプターは、主電源コンセントの近くに設置し、簡単に電源プラグの抜き差しができる状態にしてください

ほこりがたまる場所で接続する場合には、トラッキング対策のため、電源プラグのほこり等を定期的に取り除いてください。

電源スイッチについて

本機に電源スイッチはありません。電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入ります。電源を入れるとパン・チルト・ズーム・フォーカスの各動作が実行されます。また、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードの接続について

ACアダプターの電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用する。
- (3) ACアダプターは、電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。

アース(接地)について

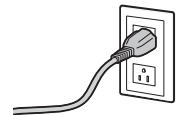
ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているか確認してください。

アース端子は、接地抵抗値(100Ω以下)を確認してください。

電源プラグを2ピンに変換して使用する場合は、販売店にご相談のうえ、アース端子付きのプラグアダプターを使用し、必ず接地接続を行ってください。

この場合、アース接続は必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。

また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。



ノイズ障害が考えられる場合

AC 100 V以上の電力線(電灯線)と信号ケーブルを1 m以上離して配線工事を行うか、別々の金属管に通す配管工事を行ってください。(金属管は必ずアースを取ってください。)

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界(モーターやトランス、電力線など)の近くでは、映像がゆがんだり、ノイズが入ったりすることがあります。

ケーブル配線時には、コネクタ部に負荷がかからないようにしてください

故障の原因になります。

放熱について

本機は、本体表面から放熱させています。

壁などに囲まれ、熱がこもる場所には設置しないでください。また、底面に放熱しているため熱くなりますが異常ではありません。

重要

- 機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

使用上のお願い

撮影は適正な照明で

美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。

蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用した場合は、部品の劣化により寿命が短くなります。

(推奨温度 35℃以下)

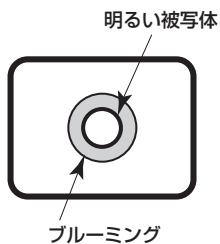
設置場所の冷房および暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

MOS センサー色フィルターの焼き付きについて

MOS センサーの一部にスポット光のような明るい部分が当たり続けると、MOS センサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えると、変色が目立つ場合があります。

強い光にカメラを向けないでください

MOS センサーの一部にスポット光のような強い光が当たると、ブルーミング (強い光の周りがにじむ現象) を生じることがあります。



MOS センサーの色再現性について

被写体の色合いによっては、色再現性が悪くなる場合がありますが、故障ではありません。

高輝度の被写体では

きわめて明るい光源がレンズに向けられていると、フレアが生じることがあります。その場合は、アングルを変えるなどしてください。

オート機能使用のときは

- カメラメニューなどの Scene で「FullAuto」を選択している場合、オート設定がすべて ON となり、一部の項目でマニュアル操作ができなくなります。
- 蛍光灯下の ATW (自動追尾式ホワイト調整) 機能の使用は、ホワイトバランスが変動する場合があります。
- 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。
- ゲインやアイリスがオート設定のとき、明るい被写体を撮影すると適正な明るさにならない場合があります。その場合は、シャッタースピードをマニュアル設定にして調整してください。

ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。

ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

フォーカスをマニュアル設定で使用する際は、フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス位置を合わせてからズームしてください。(ただし、被写体までの距離が 1.5 m よりも近い場合には、ワイド端でフォーカスがずれることがあります。)

ワイド端でフォーカス調整を行ったあとにテレ端にズームすると、フォーカスがずれる場合があります。

電源を入れたときのズームについて

本機の電源を入れたとき、ズーム、フォーカス、アイリスは電源を切る直前の位置に戻ります。(フォーカスとアイリスは、マニュアル設定の場合)

しかし動作中に電源コードを抜かれた場合などは、戻らないことがあります。

使用温度範囲は

0℃以下の寒い所や+40℃以上の暑い所では画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、避けてください。

HDMI について

本機は HDMI 認証機器ですが、接続される HDMI 機器によってはまれに出画しない場合があります。

ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

使用上のお願い

取り扱いはいねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えたりしないでください。
故障の原因になります。

使用しない場合は

使用しないときは電源を切ってください。
使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

光学系部には触れないで

光学系部はカメラの“命”。
光学系には絶対に触れないでください。
万一、ホコリがついた場合は、カメラ用のブローヤやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

回転部に異物の混入がないようにしてください

故障の原因になります。

水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

お手入れは

お手入れは、電源を切ってから行ってください。
けがの原因になります。
乾いた柔らかい布でふいてください。ベンジン・シンナー
など揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。
ケースが変色することがあります。

カメラヘッド部分を手で回さないで

カメラヘッド部分を手で回すと、故障の原因になります。

湿気、ホコリの少ない所で

湿気、ホコリの多い所は、内部の部品が傷みやすくなりますので避けてください。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄される時は環境保全のため、
専門の業者に廃棄を依頼してください。

ワイヤレスリモコン (別売品) について

本機は、別売のワイヤレスリモコン (品番 : AW-RM50G) から遠隔操作することができます。

HD映像コミュニケーションユニットのワイヤレスリモコンでは本機を直接操作できません。

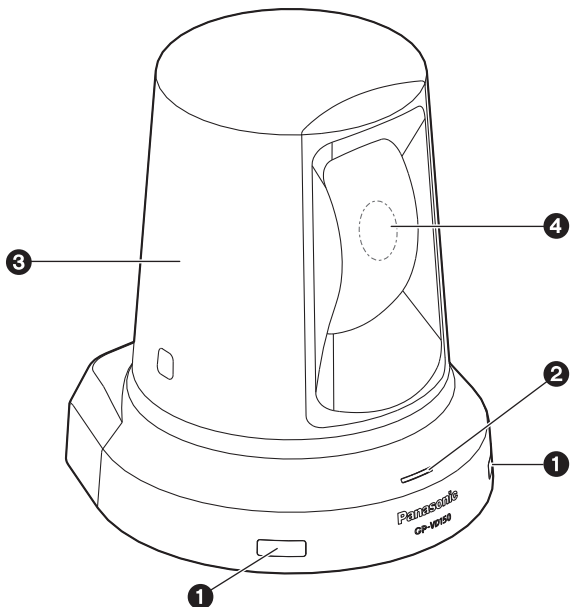
ワイヤレスリモコンは、以下の内容をご確認の上ご使用ください。

ワイヤレスリモコンのご購入につきましては、販売店にご相談ください。

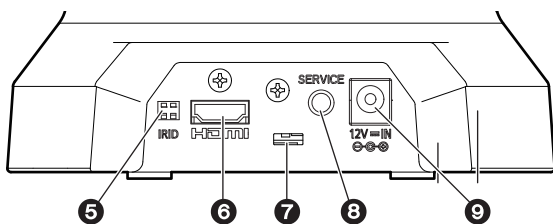
- 本機から 6 m 以内の場所でワイヤレスリモコンを操作してください。
- ワイヤレスリモコンは、本機との角度によっては動作しない場合があります。
ワイヤレスリモコン信号受光部 (以下、受光部) が見える場所から、ワイヤレスリモコンの信号発光部を受光部に向けて操作してください。
特に背面方向からの操作では動作しにくくなる場合があります。
- 本機を蛍光灯やプラズマモニターなどの近くに設置した場合や、太陽の光が当たる場合、それらの光の影響によってワイヤレスリモコンで操作できないことがあります。
必ず以下の方法で設置・使用してください。
 - ・ 蛍光灯やプラズマモニター、太陽などからの光が受光部に入らないようにする
 - ・ 蛍光灯やプラズマモニターなどから離れた場所に設置する
- ワイヤレスリモコンは、電池を抜いても 10 分間程度は操作対象の選択 (最後に押した [CAM1] ~ [CAM4] ボタン) を記憶していますが、さらに時間がたつと [CAM1] ボタンを押した状態にリセットされます。

各部の名前とはたらき

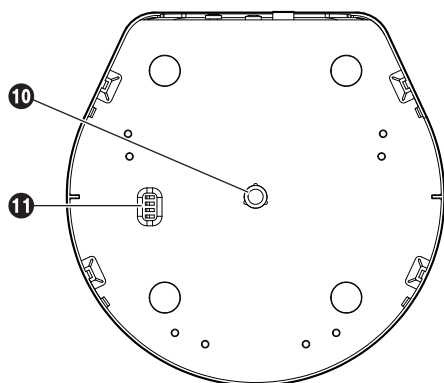
■カメラ部



<背面パネル>



<底面パネル>



① ワイヤレスリモコン信号受光部

カメラ台座部の前面2個所にあります。

② 状態表示ランプ

本機の状態によって、次のように点灯します。

橙色：待機 (STANDBY) 状態

緑色：電源 ON 時

赤色：機器異常時

緑色で2回点滅：

電源 ON 時に、ワイヤレスリモコン (別売品) からリモコン ID が一致する信号を受信しているとき

橙色で2回点滅：

電源 ON 時に、ワイヤレスリモコン (別売品) からリモコン ID が異なる信号を受信しているとき

③ カメラヘッド部

水平方向に回転します。

④ レンズ部

上下方向に回転します。

⑤ IR ID スイッチ [IRID]

[CAM1]	[CAM2]	[CAM3]	[CAM4]
IRID	IRID	IRID	IRID

ワイヤレスリモコン (別売品) のリモコン ID を選択します。

IR ID スイッチの設定「CAM1」～「CAM4」が、ワイヤレスリモコンの [CAM1] ～ [CAM4] ボタンに対応しています。

⑥ HDMI 端子 [HDMI]

HDMI 映像出力端子です。

⑦ 盗難防止ワイヤー取付穴

ワイヤー金具を取り付けます。

⑧ サービス用端子

メンテナンス時専用の端子です。

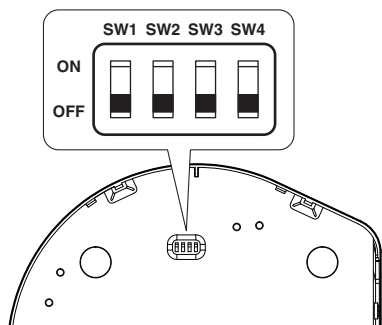
⑨ DC IN 端子 [12V IN ⊖ ⊕]

付属の AC アダプターを接続し、DC 12 V を供給します。

各部の名前とはたらき

- ⑩ カメラ取付用ねじ穴 (ねじ : 1/4-20UNC)
三脚等に固定する場合に、このねじ穴を使用します。

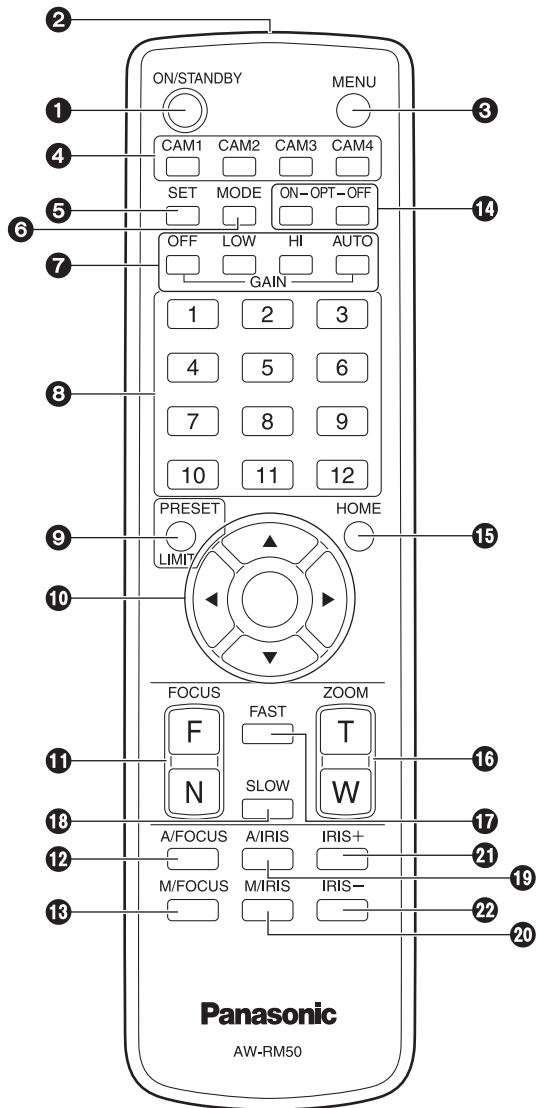
- ⑪ サービススイッチ



すべて「OFF」の位置にして使用してください。

各部の名前とはたらき

■ワイヤレスリモコン (別売品)



① ON/STANDBY ボタン

2秒以上押すごとに、本機の電源ONと待機状態 (STANDBY) を切り替えます。

ご注意

- STANDBYモード移行時：現在のパンチルト位置を記憶 (POWER ONプリセット) し、後方を向くように移動します。
- POWER ONモード移行時：STANDBYモード移行時に記憶 (POWER ONプリセット) した位置に移動します。

② 信号発光部

③ MENU ボタン

2秒以上押すごとに、本機のメニュー表示とメニュー終了を切り替えます。
メニュー表示中、このボタンを短く (2秒未満) 押すと、設定変更をキャンセルします。

④ CAM1 ~ CAM4 ボタン

操作する本機を選択します。
一度選択すると、以後は選択した本機に対して操作が可能になります。

⑤ SET ボタン

カメラメニューのSceneで「Manual1 ~ 3」を選択時にホワイトバランス調整でAWB AメモリーまたはAWB Bメモリーを選択しているとき、このボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整して、選択中のメモリーに登録します。

⑥ MODE ボタン

将来の機能拡張用のボタンです。現在は使用しません。

⑦ GAIN ボタン [OFF] [LOW] [HI] [AUTO]

ゲインを設定します。
[OFF]、[LOW]、[HI] ボタンで、ゲインアップを3段階で設定できます。
[LOW]は9 dB、[HI]は18 dBに設定されます。
また、[AUTO] ボタンを押すとAGC機能が動作し、光量によりゲインが自動で調整されます。
AGC機能の最大ゲインは、メニューで設定できます。

⑧ プリセットメモリー呼び出しボタン [1] ~ [12]

本機のプリセットメモリーNo.1 ~ 12に登録されている、本機の向きなどの情報を呼び出し、再現します。

各部の名前とはたらき

⑨ PRESET、LIMIT ボタン

プリセットメモリの登録をします。
このボタンを押しながらプリセットメモリ呼び出しボタンを押すと、現在の向きなどの情報を登録します。
プリセットメモリ呼び出しボタンの[1]～[12]は、本機のプリセットメモリ No.1～12に対応しています。

⑩ パン・チルトボタン／メニュー操作ボタン

[▲] [▼] [◀] [▶] [O]

(1) 本機の向きを変えます。
[▲] [▼] ボタンで上下方向(チルト)、[◀] [▶] ボタンで左右方向(パン)に動きます。
このとき [O] ボタンは、機能しません。
[▲] または [▼] ボタンと、[◀] または [▶] ボタンを同時に押すと、斜め方向に動きます。

(2) 本機がメニューを表示しているときは、メニュー操作を行います。

[▲] [▼] ([◀] [▶]) ボタンで項目の選択を行います。

選択した項目にサブメニューがあるときは、[O] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて [O] ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。

[▲] [▼] ([◀] [▶]) ボタンで設定値の変更を行ったあと [O] ボタンを押すと、点滅が止まり設定が確定されます。

通常のメニューは、点滅表示状態で設定値を変更したらすぐに設定が反映されますが、[O] ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された場合に反映されるメニュー (Scene、Format、Initialize) もあります。

また、点滅表示状態で MENU ボタンを短く (2秒未満) 押すと、変更がキャンセルされ変更前の設定に戻ります。

⑪ FOCUS ボタン [F] [N]

レンズのフォーカスがマニュアル設定のとき、手動でレンズのフォーカスを調整します。

[F] ボタンで遠く (Far) へ、[N] ボタンで近く (Near) へフォーカスを調整します。

⑫ A/FOCUS ボタン

レンズのフォーカスを自動で調整するように設定します。

⑬ M/FOCUS ボタン

レンズのフォーカスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、FOCUS ボタン ([F]、[N]) で行います。

⑭ OPT ボタン [ON] [OFF]

将来の機能拡張用のボタンです。現在は使用しません。

⑮ HOME ボタン

2秒以上押すと、本機の向き(パン・チルト)を基準位置に戻します。

⑯ ZOOM ボタン [T] [W]

レンズのズームを調整します。

[T] ボタンで望遠 (Tele) へ、[W] ボタンで広角 (Wide) へレンズのズームを調整します。

⑰ FAST ボタン

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、高速側に切り替えます。

ご注意

- プリセットメモリを呼び出したときのパン・チルトの動作速度は、カメラメニューの Preset Speed 項目で変更できます。

⑱ SLOW ボタン

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、低速側に切り替えます。

⑲ A/IRIS ボタン

レンズのアイリスを光量に合わせて自動で調整するように設定します。

⑳ M/IRIS ボタン

レンズのアイリスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、IRIS + ボタンと IRIS - ボタンで行います。

㉑ IRIS + ボタン

レンズのアイリスを開く方へ調整します。

㉒ IRIS - ボタン

レンズのアイリスを閉じる方へ調整します。

リモコンIDの設定

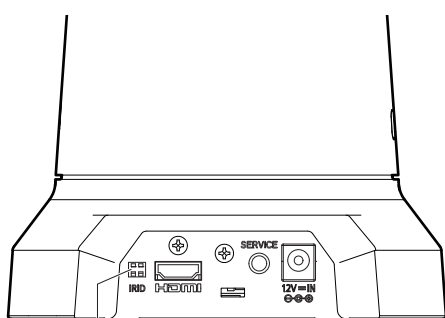
ワイヤレスリモコン（別売品）で、本機を最大4台まで操作することができます。

ワイヤレスリモコンの[CAM1]～[CAM4]ボタンのどのボタンを押したときに、どの本機を選択するかを設定します。

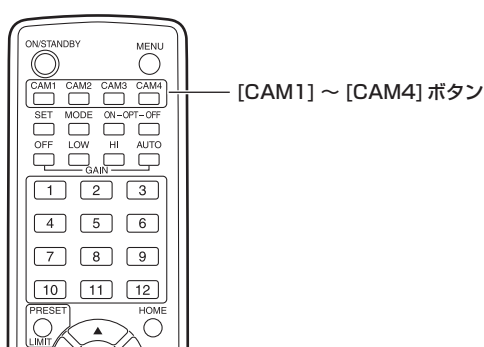
- 複数の本機を使用する場合は、それぞれ異なるリモコンIDに設定してください。
- 本機を1台で使用する場合は、特に変更の必要がなければ、リモコンIDを「CAM1」に設定してください。

設定方法

本機背面のIR IDスイッチを操作して、リモコンID「CAM1」～「CAM4」を選択します。（15ページ参照）
IR IDスイッチの設定[CAM1]～[CAM4]がワイヤレスリモコンの[CAM1]～[CAM4]ボタンに対応しています。（出荷時は、「CAM1」に設定されています。）



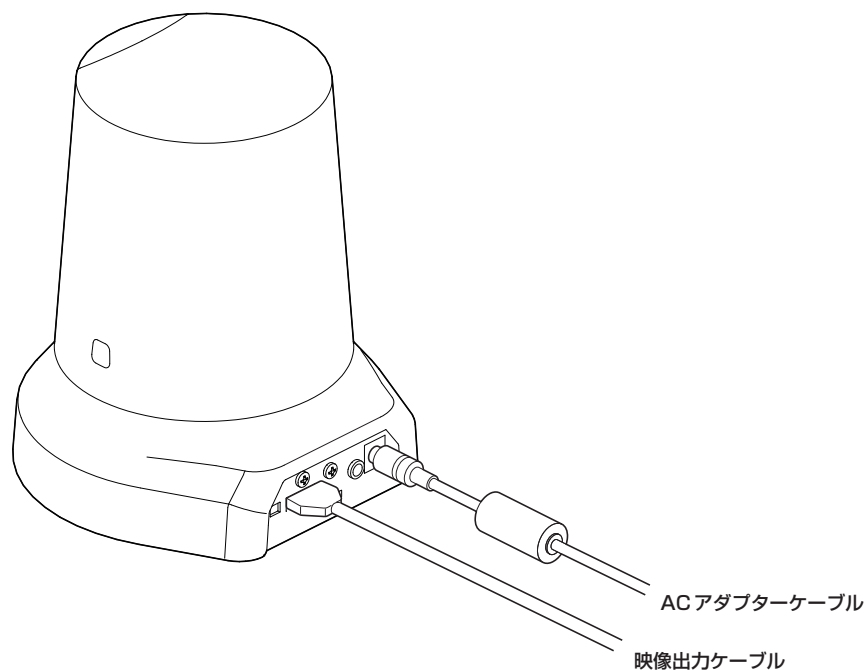
IR IDスイッチ



[CAM1] ~ [CAM4] ボタン

設置のしかた

1 背面のコネクター類を接続する

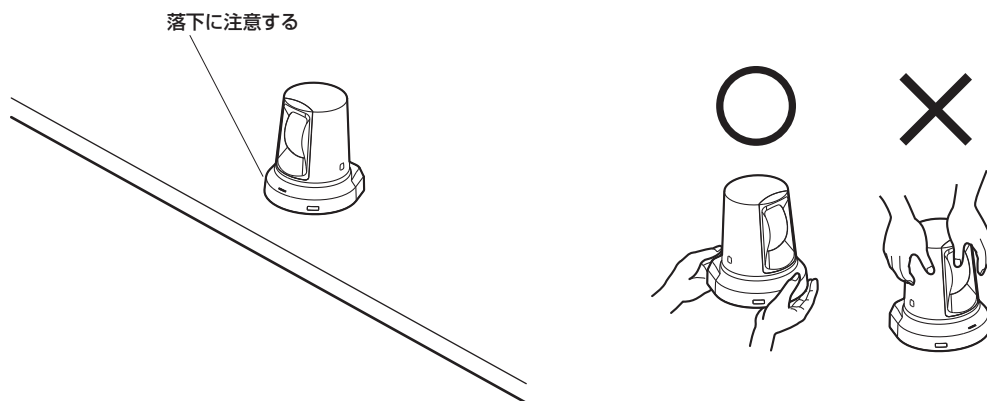


■卓上に設置する場合

本機は、水平に置いてください。

ご注意

- 揺れない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- 設置する際は、落下等に十分気をつけてください。
- 持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- カメラヘッド部を持ったり回したりしないでください。故障の原因になります。
- 接続したケーブルを引っかけないように注意してください。落下やけがの原因になります。



設置のしかた

■三脚に取り付ける場合

カメラの質量に十分な耐荷重を備えた安定性の高い三脚を使用してください。

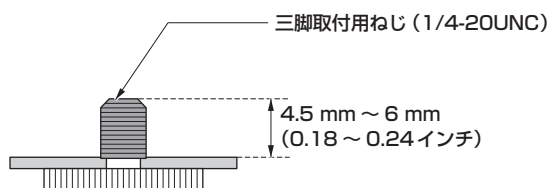
底面のカメラ取付用ねじ穴に三脚を取り付けます。

三脚は、段差のない平面に設置します。

三脚取付用ねじを手でしっかり締め付けてください。

カメラ本体を回して締め付けしないでください。故障の原因になります。

三脚取付用のねじは、次の規格のものを使用してください。

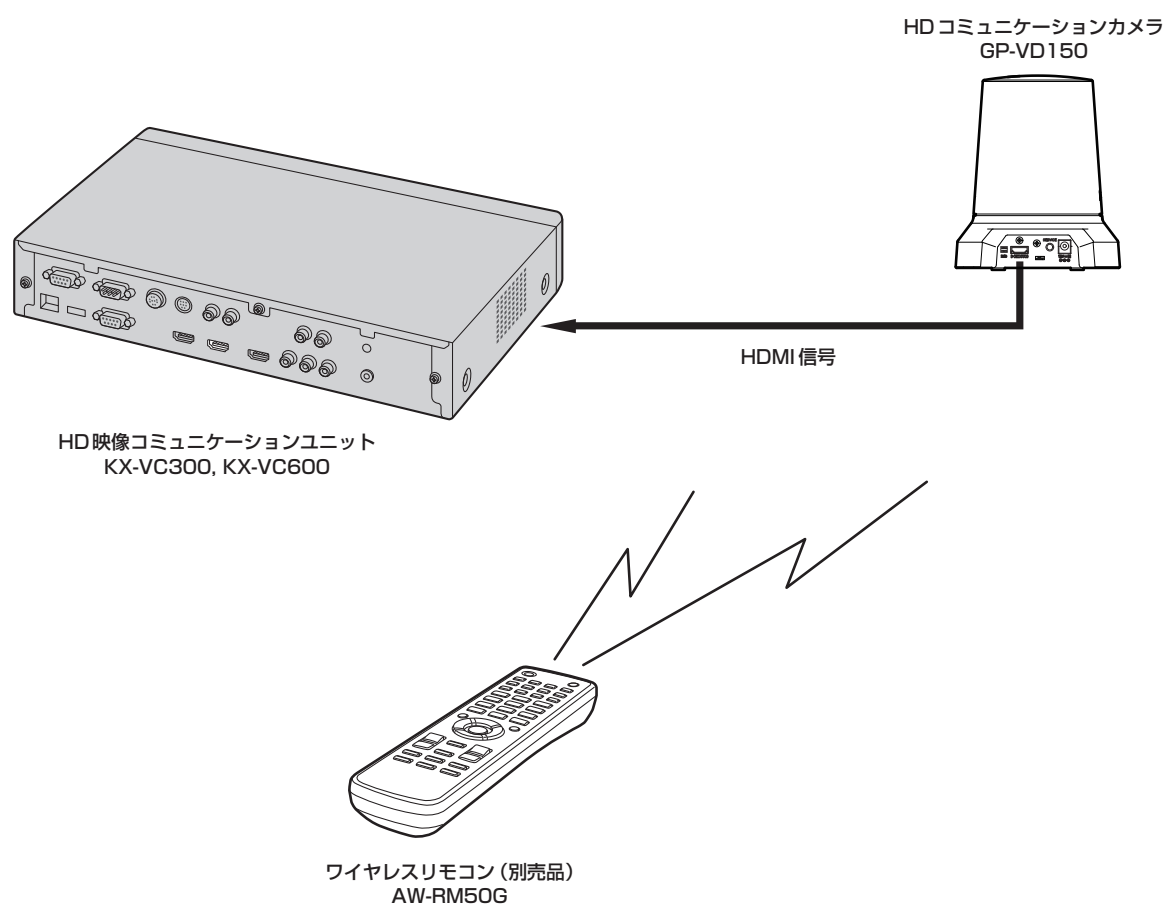


ご注意

- 人の通るところには設置しないでください。
- 三脚に取り付けて使用する場合は、高所に設置しないでください。
- ゆるみのないように、しっかりと取り付けてください。落下やけがの原因になります。
- 長期使用の場合には、転倒防止、落下防止の対策をとってください。また使用後は、速やかに片づけてください。

接 続

■HD 映像コミュニケーションシステムとの接続



- HD 映像コミュニケーションユニットによるパン、チルト、ズーム、プリセット等のカメラ操作の説明は、対応している HD 映像コミュニケーションユニットの取扱説明書をお読みください。

故障と思ったら

●操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	● ACアダプターがACコンセントに確実に接続されていますか？	---
	● ACアダプターの電源プラグが正しく接続されていますか？	---
	● ワイヤレスリモコンで操作の場合 → 「ワイヤレスリモコンで操作できない」の項目もご覧ください。	---
操作できない (ワイヤレスリモコン、 HD映像コミュニケーションユニット共通)	● 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。	操作・設定編
	● 操作したい本機を正しく選んでいますか？	操作・設定編
ワイヤレスリモコンで 操作できない	● 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ → ワイヤレスリモコンをワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、状態表示ランプが点滅しない場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。	---
	● 本機の近くに蛍光灯やプラズマモニターがあり、それらからの光がワイヤレスリモコン信号受光部に当たっていませんか？	P.14

故障と思ったら

●映像関係

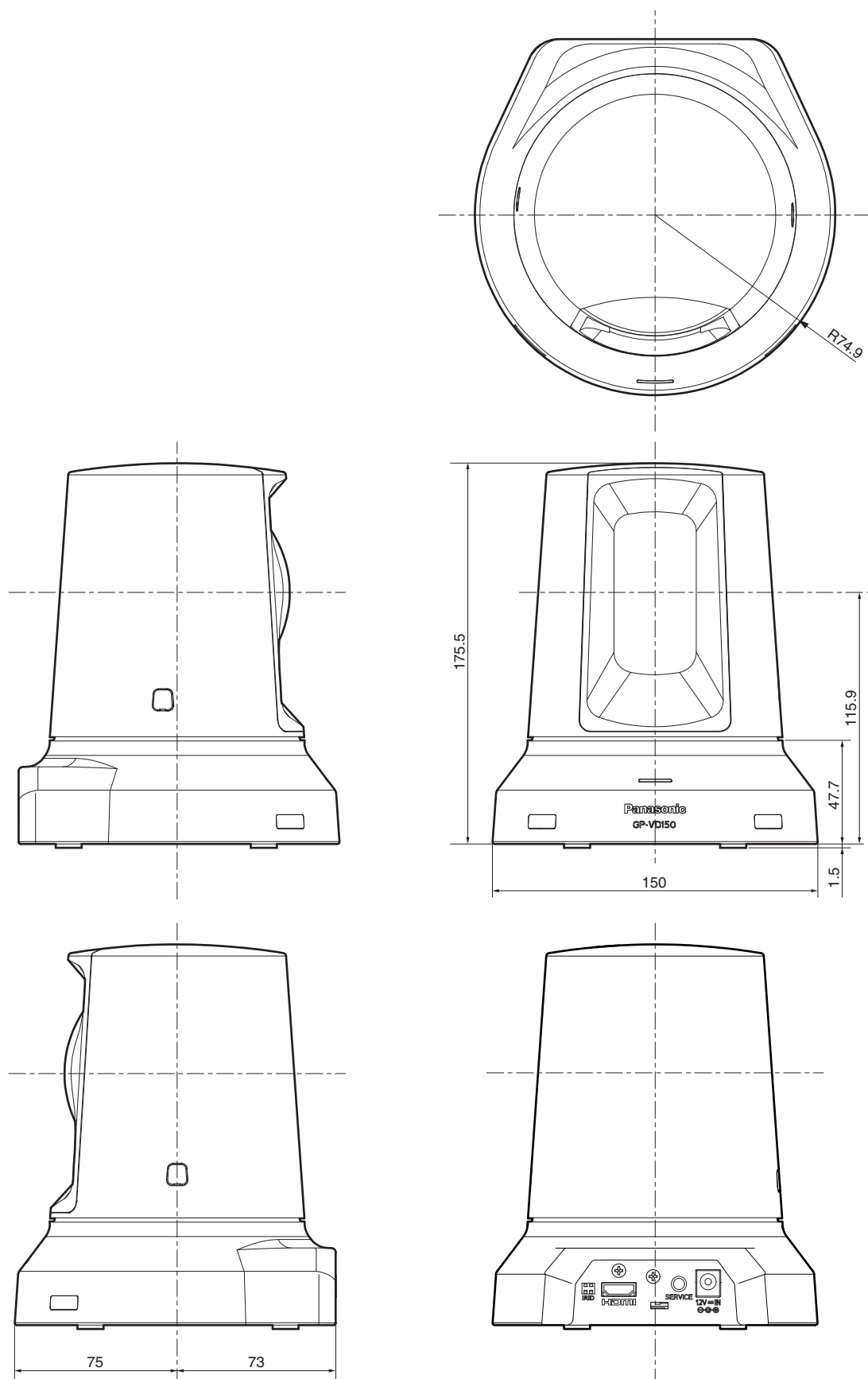
症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続した機器と正しく接続されていますか？ 	P.22
	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？ 	操作・設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像信号設定は正しく選択されていますか？ 	操作・設定編
メニュー画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● メニューを終了してください。 	操作・設定編
メニュー画面が見にくい	<ul style="list-style-type: none"> ● お使いのHDMIモニターによっては、下記のような現象が見られる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ・メニュー表示の文字の解像度が背景の映像変化によって変化する ・モニター側の輪郭強調によって、メニューの黒影の前に白い線が出る ・モニター側の輪郭強調によって、メニューの白部分に背景の色が載る 	---
自動でフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。 	操作・設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → その場合はマニュアル設定にして手でフォーカスを合わせてください。 	操作・設定編
マニュアルフォーカスのとき、ズーミングでフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none"> ● テレ端でフォーカスは調整されましたか？ <ul style="list-style-type: none"> → フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス調整後、ズーミングしてください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用条件によっては、フォーカスが合いにくい場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → その場合はフォーカスをオート設定で使用してください。 	操作・設定編
映像の四隅にリング状の映り込みがある	<ul style="list-style-type: none"> ● レンズとその前面にあるカバーとの間での光の反射によるものです。照明との位置関係を工夫して、映り込みが発生しない場所に設置して使用してください。 	---
映像の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● ATW（自動追尾式ホワイト調整）を有効にしてください。 	操作・設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● 場面によってはATWでは正しい色にならない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。 	操作・設定編

故障と思ったら

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が明るすぎる、 または暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ● アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動で調整してください。 	操作・設定編
	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。 	---
被写体がゆがんで見える	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機はMOS撮像素子を使用しているため、被写体がすばやく横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。 	---
撮影中にフラッシュをたくと、画面の上側あるいは下側だけが明るくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● MOS撮像素子では、画面の左上と右下では撮像タイミングが少し異なるため、フラッシュをたくとそのフィールドでは下側が明るくなり、次のフィールドでは上側が明るくなります。これは故障ではありません。 	---
明るさが周期的に変わったり、色が変わったり、横じまが流れて見えたりする	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下で発生することがあります。(フリッカー) このようなときは電子シャッタースピードを、電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをおすすめします。 	操作・設定編
細かい線や周期的な模様を撮影したとき、ちらついて見えたり、色がついたりする	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮像素子上で画素が規則正しく配列されているため発生します。被写体の空間周波数と画素ピッチが近づくと目立ちますので、アングルを変えるなどしてください。 	---

外形寸法図

単位：mm



定 格

電源電圧 : DC 12 V \pm 10 % (ACアダプター添付)
消費電流 : 1.0 A

 は安全項目です。

■総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ +40 °C
保存温度 : -20 °C ~ +50 °C
許容湿度 : 20 % ~ 90 % (結露なきこと)
質量 : 約 1.2 kg
寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)
: 150 × 148 × 177 mm
仕上げ : シルバー

■入力

入力端子 : DC 12 V IN

■出力

映像出力 : HDMI (HDMIコネクター)

定 格

■機能／性能

【カメラ部】

- 撮像素子 : 1/3型Full-HD MOS
- レンズ : 電動12倍ズームF1.6～2.0
(f=4.7～56.4 mm 35 mm換算：
36.9 mm～442.8 mm)
- フォーカス : オート/マニュアル切替
- フォーカス距離
: ズーム全域 : 1.5 m
Wide端 : 30 cm
- 色分解光学系 : オンチップカラーフィルター方式
- 最低照度 : 3 lx (50 IRE、F1.6、+36 dB)
- 水平解像度 : 850 TV本Typ (中心部)
- ゲイン切替 : Auto、0 dB、3 dB、6 dB、9 dB、
12 dB、15 dB、18 dB
- 蓄積モード : 0 dB、6 dB、12 dB、18 dB
- 電子シャッター
: ステップ : 1/100、1/250、1/500、
1/1000、1/2000、1/4000、
1/10000
シンクロスキャン : 60.24 Hz～
646.21 Hz
- ガンマ : Off、Normal (Low、Mid、High)、
Cinema
- ホワイトバランス
: AWB A、AWB B、ATW
- クロマ量可変 : 7段階可変
- シーンファイル
: フルオート、マニュアル1、マニュアル2、
マニュアル3
- 出力フォーマット
: HD 1080 : 59.94i
: SD 480 : 59.94p

【回転台部】

- PAN/TILT動作スピード
: 最高速90°/s以上
- PAN動作範囲 : ±100°
- TILT動作範囲 : ±30°
● PAN、TILTの位置によっては、本体
が映像に映りこむことがあります。
- 静粛性 : NC35 (通常速度)、
NC40 (プリセット時)

■ACアダプター

- 入力 : AC 100 V～240 V、1.5 A、
50 Hz/60 Hz
- 出力 : DC 12 V、2.5 A、30 W

付属の電源コードは、定格がAC 125 V以下です。
AC 100 Vのコンセントに接続してください。

■別売品

- ワイヤレスリモコンAW-RM50G
(パナソニック株式会社製)
(単3乾電池×2、電池は別売)

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電話 () -
お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「故障と思ったら」(P.23～25ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 HDコミュニケーションカメラ

●品番 GP-VD150

●故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像が出てこない。
- その他の異常・故障がある

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。

直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

設置の説明に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル  **0120-878-410** バ ナ ハ ヨ イ フ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号